かしわざき

教育センター・育成センター所報

GALILEI

青少年育成委員OB･OGと現役有志でつくる育成座の寸劇公演

CONTENTS

○今月の巻頭言 …… Ｐ１
　★鯨波のナウマンゾウと高橋先生
　　教育センター運営委員
　　刈羽村立刈羽中学校長　笠原　徹
○教育センターだより …… Ｐ２
　★アクセス（教育研究班） …… Ｐ２
　★プロジェクト Ｋ（科学技術教育センター） …… Ｐ１０
　★心の窓（教育相談班） …… Ｐ１４
○青少年育成センターだより …… Ｐ１５
○１月の行事予定表 …… Ｐ１７
○所員随想「つれづれ」 …… Ｐ１７
　★四季を通じて２　　教育相談班相談員　植木　瞳

平成２４年１２月号

柏崎市立教育センター　柏崎市青少年育成センター

今月の巻頭言

鯨波のナウマンゾウと高橋先生

教育センター運営委員
刈羽村立刈羽中学校
校長　　笠原　　徹

「先生、変な骨を見つけたんだけど何だかわかる？」教職について間もないころ、生徒からの質問に答えられなかった私は、「とにかく調べてみる。」と言って骨を受け取りました。

理科の教科書には、草食動物の骨格標本と肉食動物の骨格標本の写真が掲載してあります。比べてみると、犬歯はあまり発達していないし、臼歯もあまり目立たない感じがしました。わからないときには、専門家に聞いてみようと思い、新潟市の県立自然科学館に行きました。担当職員は、自分は専門家ではないのでと言われ、紹介された先生が日本歯科大学の高橋啓一先生でした。そして、休みにもかかわらず会ってくださることになり、大学前で待ち合わせました。早速、骨を見せると、「うーん？大学にある標本の骨と比べてみますか。」とおっしゃり、大学に入りました。地下へどんどん降りていくと、霊安室もあり、少し寒気が走りましたが、高橋先生について行きました。標本室と書かれた部屋には、たくさんの動物標本が置かれていました。「これが、ワニです。」犬歯は大きく迫力がありました。「これがキリンです。」これこそ臼歯だと思いました。「これは何だと思いますか。」差し出された標本は、生徒が持ってきた骨にそっくりでした。「これはクマの標本です。」標本と実物の骨を比べて、なるほどとストンと心に落ちました。

高橋先生は、採取された場所や大きさ、歯の形を電話で聞くだけで、間違いなくクマだとわかったのではないかと今になっては思います。それをわざわざ休みの日に時間をとって会ってくださいました。骨を見ればすぐにクマとわかるのに、標本室まで案内いただいたのです。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。立派な先生は、偉ぶることもなく、丁寧な対応をしてくださるものだと思いました。昨今は、クマが凶暴な猛獣のような報道がありますが、クマは雑食性であり、歯の形を見ても、木の実を好み、もともとはおとなしい動物であると教わったのは高橋先生からでした。

高橋先生は現在、滋賀県立琵琶湖博物館で総括学芸員、事業部長としてご活躍です。柏崎市鯨波のナウマンゾウの発掘調査にも高橋先生は関わっておられます。生徒の拾ったクマの骨が、私を高橋先生につなげてくれました。今度は、鯨波のナウマンゾウについてのお話を聞いてみたいなあと思っています。

「ガリレイ」というすばらしい所報に出会い、昔話を思い出しました。たゆまぬ創造と検証の精神は、児童生徒を育てる上で大切にしたい精神だと思います。私も中学校で、日々生徒とともに学んでいきたいと思います。

教育研究班

アクセス

■ 研修講座より

特集　◆12/18(火)柏崎の教育３・３・３運動推進講座

学校、地域、家庭で一緒に取り組むことってどういうこと？
～「ともに歩む地域の学校」づくりに向けて～

＊ここでは「柏崎の教育３・３・３運動」を「３３３」、「学校、家庭、地域」を「三者」と略して記す場合があります。また、文中の内容の中には講座修了後の会話も含まれています。ご了承ください。

キーワードは「協働」

協働のイメージ図
（教育センター作成）

かつて、学校、地域、家庭がその役割が十分に果たすことができていた時代ではそれぞれが「連携」する中で子どもは育っていました。今、諸事情でそれらが十分でないとき、一緒になって汗を流す「協働」が求められています。

これにより地域の教育力は子どもに集まり、地域も元気になります。

協働＝一緒に取り組むってどういうこと？

今回の講座では「一緒に取り組むということはどういうこと？」をテーマに、年末の多忙な時期にもかかわらず全ての中学校区から４０人近い地域の方々、保護者、先生方から集まっていただきました。会は前半と後半の２部で行い、事例に基づき、考えていきました。

第一部　三者で汗を流す～日吉小学区の事例～

徳間日吉地区育成会長
真貝ＰＴＡ会長、小池教頭先生

前半では、日吉小学区で５年目を迎えている３３３祭りについての事例から学びました。

その企画～実施までの詳細を三者から、苦労話も含め、直接お聞きすることができました。

まず、ＶＴＲで「おもしろ教室」を紹介いただいた後、このような取組を企画する三者合同会のＶＴＲも視聴しました。その中では、

① 三者で膝を突き合わせた会合をもっている
② 三者で具体的な取組内容を協議している
③ 三者で地域を巻き込む方法を探している
④ 三者で互いの不安点を出し合っている

ような場面が録画されていました。この合同会は当たり前の場面として思われがちです。しかし、先生と保護者と育成関係の三者で“子どものために”という「理念」と「具体的な方策」「思い」の共有がなされていく、非常に重要な場であると思いました。また、苦労話の中では、企画者として周囲からどう見られているのか不安であることや、活動費確保のための廃品回収が雨で中止になるなどのエピソードも紹介していただきました。

子どものために語り合い、一緒に汗を流しながら創り上げていく活動には「強さ」と「責任の共有」という揺るぎないものを感じました。

第二部①　互恵関係を大事に　～鯨波小の事例～

鯨波小学校の長谷川先生

後半は２つの事例を紹介として、まず、鯨波小学校の長谷川先生からお話をいただきました。その中で、「地域の方からの３３３って何？」という疑問に答える形で学校便りに特集を組んだことに触れました。内容は、鯨波小で脈々と取り組んでいる活動と３３３ポスターを視覚的につなげる、大変見やすいものでした。これなら地域の方々もやっていることが一目でわかります。

地域の方からすれば、「自分たちも何かできることをやることで貢献したい！」という気持ちがあった上での疑問でした。このような機をとらえ、互いに思いを具現化する互恵関係を大事にすることも必要です。

＊なお、学校だよりに３３３運動コーナー等を設けている学校は数多くあり、いずれもこの活動の推進を確実に後押ししているものです。

②３つの「お願い部門」でつながる地域と学校
～半田コミセンの事例～

半田コミセンの中村様

半田コミセンの立場からは担当の中村様から、同地区でのわかりやすい３つの取組について紹介がありました。

それは、従来からあったコミセンの活動を

① 「学校からの協力依頼のお応え」部門
② 「学校への協力願い」部門
③ 「参加お願い」部門

の３点に分類しながら、学校、家庭、地域をつなぎ、子どもの成長を促すものです。これにより学校と太いパイプが創られた経験も話されました。

中村様のようなコミセンの立場の方々も、学校の先生と同じように子どもの成長を心から願っていることを強く感じ、「はっ」とさせられた瞬間でした。

忙しく諸事情を抱える家庭や、場とマンパワーが不足する学校を支援することで、子どもたちの自律を促すことができれば、という純粋な思いに改めて触れることができました。

まとめ

下の写真は、終盤で皆さんに「三者で取り組む際のポイントは？」という題で聞いたものです。

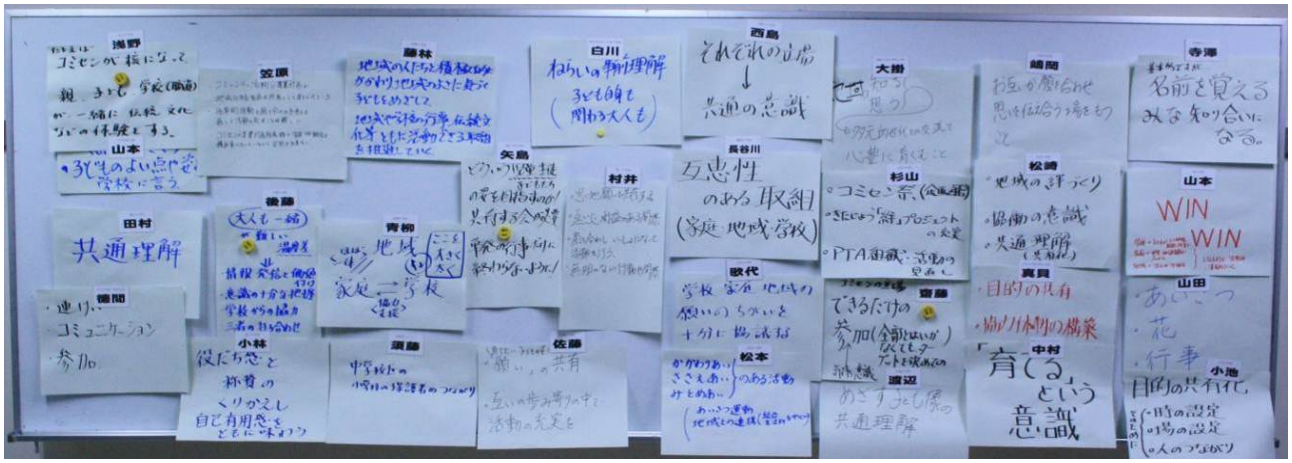
斉藤様（半田コミセンセンター長）、浅野先生（西山中）、矢島先生（鏡が沖中）、後藤先生（内郷小）、白川様（地域）からは、特に説明をしていただきました。多かったキーワードは、

・目的、理念、目指す姿等の共有、共通理解
・互恵性、WIN WIN の関係
・顔を突き合わせ思いを伝え合う場や行動する場の設、三者の歩み寄り、等でした。

また、小林先生（三中）の「役立ち感と賞賛の繰り返しで自己有用感を」という考えや、コミセン関係の方からは「活動の新設は難しく元々ＰＴＡや育成会も構成員なので…」というコメントもありました。既存の活動をより効果的なものにしていくかを考えることも大事であると考えます。

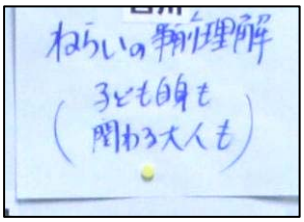
最後に、学校教育課の山本指導主事から「３３３運動は『ともに歩む“地域の学校”づくり』に向かって大事な切り口となります。次の社会を担う子どもたちを育てるための取組です！」という元気がもらえる指導があり、今後の推進を後押しする形で講座が終わりました。

講座の終盤で参加者にお聞きしました…「一緒に取り組む際のポイントは？」



２／１６（土）ＡＭ　「柏崎の教育を語る会」では

子どもたちの声も ぜひ…！！



最後に発言した地域の方から、子どもたちは３３３運動など、「地域ぐるみの活動」をどう感じているのだろうか？子どもの考えに耳を傾けてみることで様々なヒントを得られるのでは？という要望もいただきました。（左写真）

２／１６（土）ＡＭ、「柏崎の教育を語る会」で実現したいと思います。

あなたはどれほど憤っているか、痛みを共感しているか。

◆糸魚川市立磯部小学校　教諭　白鳥美智子 様

11/20(火)明るく元気がでる同和教育授業のポイント

糸魚川市立磯部小学校教諭、白鳥美智子先生をお招きしてのこの講座は「もっと新しく、もっと明るく、もっとわかりやすく」をサブタイトルにして行いました。

白鳥先生は終始、差別の本質「差別される側は何も悪くない。周囲が差別を作る」という点に触れながらも、

・もっと新しく…若者にメッセージを届けよう
・もっと明るく…将来への展望が実感できるようにしよう
・もっとわかりやすく…不当性の説明をもっとわかりやすく

ということも語られていました。

糸魚川市立磯部小学校教諭 白鳥美智子様

また、「授業者が差別に憤りを感じなければいけない」「痛みの共感こそが人権を広げる」とも言われ、かかわる同和教育とはこういうこと、という思いが伝わってきました。

後半では、授業づくりの実際に関して、

① まず、差別する人、差別される人、傍観している人の関係をはっきりとらえさせること
② 次に、差別されている人の気持ちに十分に思いを巡らせること
③ そして、考えを深めるための切り返しの発問を考えること（建前的な答えからの脱却）

が大切であると力説されておりました。そのために「資料は一気に提示するのではなく、子どのも考えを引き出しながら提示する」ことも必要であることを、ご自身自作の短冊を貼り出していく実演を通してご指導いただきました。これらのことは、全ての教科の「わかる授業づくり」にも通じることであり、改めて子どもの立場にたった授業展開が必要であることを考えさせられました。

参加者の感想には「同和教育では憤り、共感が大切だと言われる理由がよくわかった。今すぐにでも学校に戻り教材研究したい」等、意欲的に授業に臨もうとする記述が多くありました。

取り上げる「道徳的価値」を明確にすることは、ねらいを明確にすること

◆上越教育大学 准教授　白木みどり 様

11/28(水)道徳授業づくり

上越教育大学大学院、白木みどり准教授をお招きしてのこの講座は「今を生きる、これからの道徳教育」というテーマで行いました。

冒頭、現在の若者の「責任」「努力」に関する否定的なとらえに触れらました。その上で、教育基本法にある教育の目的「…社会の形成者として必要な資質を…」や目標「個人の価値を尊重、能力を伸ばし、創造性を養うとともに…」についても触れ、道徳教育と、その要となる「道徳の時間」の一層の充実の必要性を説明していただきました。

上越教育大学准教授 白木みどり様

また、後半は、道徳授業づくりの事例を数多く提示していただきました。一例を挙げると、数日前に「親への不満」を出させておいた上で、当日の授業の終末で事前に回収しておいた「親から愛する子への手紙」を一人一人に渡す展開など、他教科にも通じる見事な学習課題づくりを紹介していただきました。子どもに考えさせたい価値を教師側が明確にもち、資料のどこに焦点を絞ってどんな発問をすればよいのかを吟味することの大切さを学ぶと同時に、他教科等に通じる重要なこととして受け止めました。

既存の教材を一ひねり！　その姿勢で子どもの学習意欲は大きく変わる

◆上越教育大学 教授 松沢 要一 様

11/30 (金)算数・数学科 授業改善講座

上越教育大学教授 松沢 要一様

上越教育大学　松沢要一教授をお招きしてのこの講座は「算数・数学科授業改善講座」として行いました。

松沢先生は、まず、客観的データから、日本、特に新潟県の子どもの学習意欲の低さを指摘されました。「わかるけどやりがい感が低い」現状をどうやって打破していくか、そのために課題の「条件を変えてみる」「補助線を引く」等、ほんの少しの工夫で大きな成果を生む場合があることを説明されました。

意欲面での改善には、その基盤となる学級の状態も大事であるとのご指導もありました。

参加者からは「新潟県の算数・数学にかかわる学習意欲の低さには驚いた。これを改善するのが急務だとわかり大きな使命感をもった」「子どもの意欲を高めわかる授業をするには特段、目新しい課題を開発すればいというものではない。既存の問題を子どもの思考に思いを巡らせながら一ひねりするだけでよいことがわかり元気が出た」等、今後の実践に期待がもてる内容の記述が多くみられました。

この記者会見型スピーチ、ぜひ、やってみたい！

◆上越市立直江津中学校 教頭　石野 秋広 様

12/4 (火) 新学習指導要領に基づく実践紹介(国語)

上越市立直江津中学校 教頭 石野 秋広様

前半は新学習指導要領に基づいた「生きる基盤の力を養う国語力」というとらえを重視するお話をいただきました。そこでは、古典「徒然草～仁和寺にある法師～」を例に、数百年の時を経て、人々のものの見方を現代と重ね合わせる醍醐味そのものをねらいにする指導案も紹介され、大変参考になりました。

例えば、当時の地図を準備し、法師が歩いた距離を調べさせ「こんなに長い距離なんだね」という印象を与えた上で、書き出し部分を読んだ生徒が「こんな距離をふと思い立って歩くなんて、少し滑稽じゃない？」と思い描くような展開を紹介していただきました。

後半は、模擬授業での実習に入り、「話す・聞く」を重視する「記者会見型スピーチ」を２班に分けて行いました。被会見者の良さを引き出すインタビューと必須の追質問で切れ込んでいく魅力的な活動を体験しながら、この活動のもつ意義を実感することができました。被会見者役の松浜中の坂西先生、南中の山本先生の好演技がキラリと光っていました。

昭和２０年７月、柏崎にも爆弾が落ちた

◆ソフィアセンター職員

12/12 (水) ソフィアセンターを使った平和学習資料活用

司書の方と参加された先生

ソフィアセンターでは、団体の場合、５０冊まで図書を借りることができます。フロアーにある本を手にとって、必要な書籍を一定期間、学校等に持ち込むことも可能です。さらに、司書の方へ「こんな目的でこんな風に使える資料がほしい」という要望を伝えながら資料室の閲覧も可能です。講座当日も「ローカルな話ですが、昭和２０年に柏崎に爆弾が投下されたことで調べたいのですが関連する資料はありますか？」と質問したところ、最適な資料がありました。

この他、柏崎の歴史、産業の発展、過去の写真など、身近な題材での授業づくりに適する資料や「中村文庫」等の大変貴重な資料もあります。全てが自由に閲覧できるわけではありませんが、活用の促進を図りたいと思います。

すべての活動を道徳教育と結びつける

◆柏崎市立槇原小学校 校長　若林 勝　様

12/11（火）家庭・地域とともに進める道徳教育

柏崎市立槇原小学校 校長　若林 勝　様

この講座は、槇原小学校、若林勝校長先生を講師にお招きしました。

そこでは、まず、子どもを取り巻く社会の「責任転嫁」「物質的な価値優先」「努力軽視の風潮」等、社会モラルの低下の現状を捉え、「だからこそ、今、家庭、地域と一緒になって子どもの習慣形成、自制心や規範意識の醸成、社会的自立を図る必要がある」という必然性をご説明いただきました。

次に、全教育活動を通じて行う道徳教育の重要性の中で、特に体験活動にかかわって、

・体験を繰り返していく中で心の変化が生じてくる。これを捉え自覚させるようにする。
・社会貢献活動等は活動自体が道徳性に大きなプラスの影響を与える。等に触れられました。

また、要としての「道徳の時間」についても、

・各教科等や行事、体験活動と内容的時期的に考慮し、その前後で最適な「道徳の時間」を。
・保護者も一体となって参加型の授業を行うことも有効。その際はねらいや進め方の打ち合わせを。学校だけでは効果が出にくい場で特に有効である。

等のご指導をいただきました。

最後に「ともに歩む“地域の学校”づくり」に触れ、道徳教育視点で家庭や地域と一緒になって取り組むことは、かかわる全ての人たちをつなぐことになると語られ、「家庭・地域とともに進める道徳教育」の意義を深く感じる言葉で講座を締めくくられました。

ねらいを焦点化、ピンぼけはしないように。

◆中越教育事務所 指導主事　宮嶋 博　様

12/13（木）新学習指導要領に基づく実践紹介(数学)

中越教育事務所 指導主事 宮嶋 博 様

中越教育事務所､宮嶋博指導主事をお招きしての講座でした。

宮嶋先生は、まず、「知識や技能の習得」と「思考力・判断力・表現力の育成のバランス」を重視した指導計画の大切さについてご説明いただきました。その上で、一時間の授業を、ねらいをしっかり焦点化した上で臨むよう、指導がありました。「ピンぼけに注意せよ」ということです。

その中で、算数・数学の授業では、例えば「連続する３つの自然数の和はどんな数？」という問いについて紹介がありました。通常、１、２、３や２、３、４など基本的で小さい整数を用いながらそれぞれ、６、９、１２になることを確認、「３の倍数になるのでは？」という予想を立てます。その上でどう考えていけばよいのか整理し３×（自然数）の形を導いていきます。これだと思考はスムースに流れていきます。

宮嶋先生は思考力を伸ばす代案として、「説明カード」の提示を紹介されました。このカードはいきなり文字Nを含み課題解決を説明しているカードです。今まで立て板に水のような思考の流れだった生徒にとっては、既習の知識や技能を総動員して、記載事項の全体像をつかもうとしたり、行間を読むことを試みたりするようになり、仲間同士の学び合いも進みます。

また、条件を変えることに関しては「連続する３つの自然数」を「５つ」に、「自然数」を「偶数」に、「和」を「積」にしてみるなどの工夫も大切であるとおっしゃっていました。

参加された先生方の感想には、「設問の意味を問いただしながら授業づくりをすることの重みを感じました」「（小学校の先生からは）中学でどのような改善がされているのかを学ぶことができて良い機会でした」等、今後の教材研究を一層前向きに取り組んでいこうとする意欲が感じられる記述が多くありました。

■ １月の講座のご案内

年度当初、調整中でした講座の日程が決定いたしました。新センターの駐車場は広く、除雪も万全なので、冬期間でも安心して何十台でも駐車できます。ご都合がよろしければ、ぜひともご受講ください。

申し込みはいつでも受け付けています。Mail：kec@kenet.ed.jp、TEL：23-1168、FAX：23-461

日時	講座名 ／ 会場／ 講師
1/10(木) 15:45-16:45	No.29･30 【理科】新学習指導要領に基づく実践紹介（理科） ◆柏崎市立教育センター ◆長岡市立和島小学校　教諭　西山　晴美　様 上越市立城北中学校　教諭　保坂　修　様
1/15(火) 15:00-16:45	No.50 【外国語活動･外国語】新学習指導要領に基づく実践紹介（英語） ◆柏崎市立教育センター　多目的研修室 ◆中越教育事務所指導主事　力間　昌宏　様
1/16(水) 15:00-16:45	No.14 【算数･数学】新学習指導要領に基づく実践紹介（算数･数学） ◆柏崎市立教育センター　多目的研修室 ◆長岡市立表町小学校　教諭　笠原　道宏　様
1/18(金) 14:30-16:45	No.65 【特別支援教育】特別支援学級経営の基礎･基本Ⅳ ◆柏崎市立教育センター　多目的研修室 ◆学校教育課指導主事　上松　武
1/24(木) 15:00-16:45	No.43 【技術･家庭】新学習指導要領に基づく実践紹介（技術科） ◆新潟工科大学　大学院棟地下１Ｆ　大学院第１講義室 ◆直江津東中学校　教諭　松風　嘉男　様 新潟工科大学　准教授　小野寺正幸　様
1/25(金) 15:00-16:45	No.5 【国語】新学習指導要領に基づく実践紹介（国語） ◆柏崎市立教育センター　多目的研修室 ◆長岡市立表町小学校　教諭　倉部　努　様
1/29(火) 15:00-16:45	No.78 【生徒指導】問題解決事例から学ぶ毅然とした指導の具体 ◆柏崎市立教育センター　多目的研修室 ◆学校教育課指導主事　上野　忠英
1/30(水) 15:00-16:45	No.41【保健体育･保健指導】新学習指導要領に基づく実践紹介（保健体育） ◆柏崎市立教育センター　多目的研修室 ◆糸魚川市立根知小学校　教頭　宮川　高広　様
1/31(木) 15:30-16:45	No.44【技術･家庭】新学習指導要領に基づく実践紹介（家庭科） ◆柏崎市立教育センター　多目的研修室 ◆上越市立城西中学校　教諭　百目鬼香保里　様

「柏崎の教育を語る会」は、
平成２５年２月１６日（土）午前中に開催予定です。
場所は新潟産業大学講堂と各教室です。

今年は子どもたちも含め、さまざまな立場、年齢層の方々からお越しいただき、これからの柏崎の教育を語っていきます。ぜひ、ご参加ください。

■ 柏崎教育情報支援システム/コンテンツサーバ情報

講習会のテキスト、資料を登録しました

◆コンテンツサーバ（スクールオフィス）

実施日	講座名／資料名
11/30	**スクールオフィス成績管理補足資料の追加・更新** 通知表のデザインサンプル-小学校.pdf （様式の追加） 小学校成績管理コピー貼り付け用サンプルシート.xlsm （様式の追加対応） 通知表のデザインサンプル-中学校.pdf （様式の追加） 中学校成績管理指導要録様式２作成_校内研修用テキスト.docx
12/7	**スクールオフィス成績管理小学校指導要録様式２作成講習** スクールオフィス成績管理の流れ小学校.pdf （部分修正） N021_小学校成績管理設定編.pdf （テキスト第４版） N024_小学校成績管理指導要録様式２作成編.pdf （テキスト第４版）

■ 情報関連講習会のご案内

１月に実施される講習会

◆H25.1.18(金) デジタルアルバム作成入門

デジタルカメラで撮影した画像を使って，CD や DVD にデジタルアルバムとしてまとめる手順について学習します。 この講座では，昨年まで Windows XP 以降の環境において無償で利用できる「フォトストーリー3」を使っていましたが，今年度は Windows7 環境下で使用できる Windows Live ムービーメーカーで実施します。写真に動きや切り替え効果を与え，BGM などを付加してムービーとして仕上げ，それを DVD に書き込むところまでを扱います。

◆H25.1.30(水) 疑問やトラブルに答える フリーQ&A その8

ICT 活用に関すること、パソコンのトラブルや疑問など、自由に相談できる機会を設けました。他の講座のような事前申し込みは不要ですが、前日までにメールや電話で相談内容をご連絡ください。

■ セキュリティ情報

セキュリティホール情報

マイクロソフトより、12 月 12 日付で 12 月の定期更新として、Windows などの重要な更新が公開されました。最大深刻度「緊急」が 5 件、「重要」が 2 件です。まだ Update が済んでいないようでしたら、至急 Windows Update などを実施していただくようお願いします

■ スクールオフィス情報

通知表の様式が追加されました

11/26 に行われたシステムの更新作業により、小学校向けに評定を出力できる通知表の様式がいくつか追加されました。今まで評定が出力できないことで利用をあきらめていたという場合は、ぜひ通知表機能の利用を再検討してください。サンプルを以下に掲載しますが、基本的に観点欄の構成と、評定の有無の組み合わせとなるパターンが追加されています。

■低学年：（評価の観点が 1 列 or 2 列）の 2 パターン
■中学年：（観点別評価のみ or 評価と評定）×（評価の観点が 1 列 or 2 列）の 4 パターン
■高学年：（観点別評価のみ or 評価と評定）×（評価の観点が 1 列 or 2 列）の 4 パターン

評定欄あり
のパターン

観点欄が 2 列構成のパターン

Sample

5年 1組 1番 ○○○ ○○○ 1学期

教科		評価の観点	評価
国語	国語への関心・意欲・態度		
	話す・聞く能力		
	書く能力		
	読む能力		
	言語についての知識・理解・技能		
社会	社会的事象への関心・意欲・態度		
	社会的な思考・判断・表現		
	観察・資料活用の技能		
	社会的事象についての知識・理解		
算数	算数への関心・意欲・態度		
	数学的な考え方		
	数量や図形についての技能		
	数量や図形についての知識・理解		
理科	自然事象への関心・意欲・態度		
	科学的な思考・表現		
	観察・実験の技能		
	自然事象についての知識・理解		
音楽	音楽への関心・意欲・態度		
	音楽表現の創意工夫		
	音楽表現の技能		
	鑑賞の能力		
図画工作	造形への関心・意欲・態度		
	発想や構想の能力		
	創造的な技能		
	鑑賞の能力		
家庭	家庭生活への関心・意欲・態度		
	生活を創意工夫する能力		
	生活の技能		
	家庭生活についての知識・理解		
体育	運動や健康・安全への関心・意欲・態度		
	運動や健康・安全についての思考・判断		
	運動の技能		
	健康・安全についての知識・理解		

Sample

5年 1組 1番 ○○○ ○○○ 1学期

教科		評価の観点	評価	評定
国語	国語への関心・意欲・態度			
	話す・聞く能力			
	書く能力			
	読む能力			
	言語についての知識・理解・技能			
社会	社会的事象への関心・意欲・態度			
	社会的な思考・判断・表現			
	観察・資料活用の技能			
	社会的事象についての知識・理解			
算数	算数への関心・意欲・態度			
	数学的な考え方			
	数量や図形についての技能			
	数量や図形についての知識・理解			
理科	自然事象への関心・意欲・態度			
	科学的な思考・表現			
	観察・実験の技能			
	自然事象についての知識・理解			
音楽	音楽への関心・意欲・態度			
	音楽表現の創意工夫			
	音楽表現の技能			
	鑑賞の能力			
図画工作	造形への関心・意欲・態度			
	発想や構想の能力			
	創造的な技能			
	鑑賞の能力			
家庭	家庭生活への関心・意欲・態度			
	生活を創意工夫する能力			
	生活の技能			
	家庭生活についての知識・理解			
体育	運動や健康・安全への関心・意欲・態度			
	運動や健康・安全についての思考・判断			
	運動の技能			
	健康・安全についての知識・理解			

観点欄が 1 列構成のパターン

Sample

5年 1組 1番 ○○○ ○○○ 1学期

教科	評価の観点	評価
国語		
社会		
算数		
理科		
音楽		
図画工作		
家庭		
体育		

Sample

5年 1組 1番 ○○○ ○○○ 1学期

教科	評価の観点	評価	評定
国語			
社会			
算数			
理科			
音楽			
図画工作			
家庭			
体育			

プロジェクトK
研修会・事業の様子

○要請研修　剣野小学校科学クラブ『葉脈標本を作ろう』　１１月２７日実施

◇内　容

今年度２回目の剣野小学校科学クラブへの要請授業。今回は「葉脈標本を作ろう」でした。ツバキの葉を使い、水酸化ナトリウム水溶液で葉肉を溶かし、歯ブラシで丁寧に取り除くと、葉全体に張り巡らされている葉脈が現れます。細い葉脈をちぎらないように取り出し、しおりにしました。どの子も集中して丁寧に作業をし、素敵な作品を作ることができました。

○要請研修　内郷小学校５・６年　放射線教育　１１月２８日実施

◇内　容

「放射線ってなんだろう？どこにあるの？」「どんなことに役立っているの？」「もし、事故などで多量の放射線をあびることになったらどうなるの？」「自分の命の守り方は？」など、盛りだくさんの内容を勉強しました。一度に全部を理解するのは難しいですが、今後繰り返し学びながら放射線に対する正しい知識を増やし、自分で考え行動できる大人になることをねらっています。しかし、本当にちょっと難しい内容でした。今年度、夏に提案した高学年バージョンのプレゼンの改良が必要だと実感しました。

○小４『もののあたたまり方』研修会　１１月３０日実施

◇内　容

金属、水、空気のあたたまり方を比較しながら調べることで、もののあたたまり方についての見方や考え方を養う授業の構成や実験を紹介しました。示温テープ、示温シール、示温インクを使うと、準備も簡単で実験結果も児童が実感しやすいものとなります。簡単気球の作り方や、サーモカメラの紹介もしました。

○要請研修　内郷小学校３・４年　放射線教育　１２月４日実施

◇内　容

前半は「放射線の３つの特徴を知ろう！」ということで、放射線によく似た光を使って学びました。特徴１「たくさん浴びると危ない！」特徴２「人から人へはうつらない！」特徴３「ものを通りぬける力がある！」これらの３つの特徴を、活動しながらおさえていきました。後半「放射線ってなんだろう？どこにあるの

かな？」を課題として、放射線測定器を使って身近にある放射線を測定する実験を行いました。「教室にも飛んでいるのか。」と驚きを隠せない子どもたち。「少しだったら大丈夫。でも、たくさん放射線を浴びることになってしまったら・・・。」そんなときの命の守り方を、この日の最後に学習しました。

○要請研修　剣野小学校５年　放射線教育　１２月１２日実施

◇内　容

霧箱の中に飛ぶ自然放射線の飛跡を見る実験や、放射線測定器を使った測定実験を中心に行いました。放射線が身近に存在することを実感した時間でした。

いきいきわくわく科学賞２０１２年審査結果報告

１１月２０日、いきいきわくわく科学賞２０１２（第４８回新潟県児童生徒科学研究発表会）の最終審査が行われました。県内からは３５５作品の応募があり、柏崎刈羽地区から応募した児童生徒の作品は、以下のような賞を受賞しました。応募してくださった児童生徒の皆さん、ご指導に当たられた先生方、大変ありがとうございました。そして、おめでとうございました。瑞穂中学校の川村さんは県教育長賞に選ばれ、１２月１５日、新潟県生涯学習センターにて行われた表彰式に参加してきました。

学校名	部門	学年	研究者	研究題目	指導教師名	審査結果
柏崎市立荒浜小学校	小学校 中学年	3	遠山　暖大	いろいろなものを こおらせるじっけん	油谷　桂士	奨励賞
柏崎市立高柳小学校	小学校 中学年	4	村田　到生	なめこのぬめりを取る方法	白井　啓太	奨励賞
柏崎市立剣野小学校	小学校 中学年	4	田村　柚子	カナヘビのえものの見つけ方	増井智恵子	奨励賞
柏崎市立高柳小学校	小学校 中学年	4	中西　誠弥	遠くに飛ぶ紙飛行機	白井　啓太	奨励賞
柏崎市立剣野小学校	小学校 高学年	5	小林　悠	蒟蒻の謎２０１２ ～こんにゃくの生長～	西川　祥雄	奨励賞
柏崎市立田尻小学校	小学校 高学年	5	武江　真哉	デオキシリボ核酸 ～DNA の採取実験～	河村　亮太	奨励賞
柏崎市立田尻小学校	小学校 高学年	5	多々蒼一郎	牛乳の膜の強さの実験	河村　亮太	奨励賞
柏崎市立荒浜小学校	小学校 高学年	6	品田　圭輔	目に見えない細菌の研究 ～発酵食品で調べる～	中村　　徹	奨励賞
柏崎市立東中学校	中学校 物・化	3	木村　龍人 石口　健斗	光の色の研究	戸井　伸泰	優秀賞
柏崎市立瑞穂中学校	中学校 生・地	2	川村　翔太	ヒザラガイの歯舌の秘密	朝賀　草乃	県教育長賞

また、今年度の県の標本展には、柏崎刈羽地区から昆虫・植物・動物標本・自然科学写真を合わせて２９作品が出品されました。審査の結果、２０作品が以下の賞を受けました。おめでとうございました。

部門	学校名	学年	氏名	テーマ	賞
植物標本	柏崎市立北条小学校	3	五十嵐　文	２０１２春～夏 私のみぢかに育つしょく物３１しゅるい～	銀賞
	柏崎市立北条小学校	6	五十嵐　寿	春から夏の身近な薬草植物Ⅱ	銀賞
	柏崎市立大洲小学校	5	平澤　麗奈	柏崎市善根（石川近辺）の春から夏の植物	銀賞
	柏崎市立第一中学校	3	駒形　悠大	柏崎の植物～海岸と山地、水辺の植物～	銀賞
	柏崎市立第一中学校	3	市村　拓真	柏崎の植物～山地と海岸、沼地、平地～	銀賞
	柏崎市立第二中学校	3	阿部　奈南	東本町三丁目の屋敷に生えていた食べられる野草と人の役に立つ草木	努力賞
昆虫標本	柏崎市立比角小学校	5	山﨑　智晴	赤坂山や高柳などで採取した昆虫の標本	銀賞
	柏崎市立枇杷島小学校	5 6	重野　大地 重野　太陽	ぼくたち兄弟のトンボ採集記録 （2011 年 4 月～2012 年 8 月）	金賞
	柏崎市立大洲小学校	6	中村　雄大	赤坂山公園付近のこん虫標本	努力賞
その他の動物標本	柏崎市立日吉小学校	2	佐藤　優希	宮川海岸の貝	努力賞
	柏崎市立日吉小学校	5	川村　和輝	柏崎の貝標本と研究	金賞
	柏崎市立半田小学校	2	矢代　　和	はじめての貝ひょう本	努力賞
	柏崎市立半田小学校	5	犬井　彗美花	貝の生息場所における生態と食べ物	金賞
	柏崎市立枇杷島小学校	6	大橋　寛人	「泳ぐ宝石」魚の耳石標本	長岡市 教育長賞
	刈羽村立刈羽中学校	1	室星　咲彩	柏崎・刈羽の貝	銀賞
	柏崎市立第二中学校	3	三井田　悠	柏崎の海岸で採集した貝の標本	金賞
	柏崎市立瑞穂中学校	2	川村　翔太	柏崎の小型貝類	金賞
自然科学	柏崎市立大洲小学校	2	近藤　諒平	キアゲハのかんさつ	銀賞
	柏崎市立鯖石小学校	3	奥寺　啓斗	雲のかんさつ	努力賞
	柏崎市立大洲小学校	6	長谷川　樹	大洲地区のセミ調べ	銀賞

教材紹介

☆光る星座盤☆

暗闇で点灯させると、幻想的かつ星座のイメージをつかみやすい教材です。星座に興味をもたせるきっかけづくりにいかがですか？

＜作り方＞

①長方形にカットしたアクリル板に型紙を合わせて、星座図を千枚通しで傷をつける。

②アクリル板の周りを黒いビニールテープで覆う。

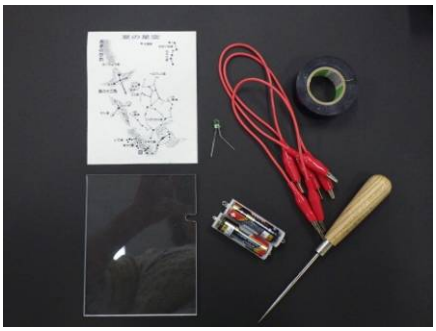
（アクリル板の切り口が鋭いためのけが防止と、光の漏れを防ぐため）

③アクリル板の一角に発光ダイオードがはまる穴をあけ、ダイオードをはめ込む。

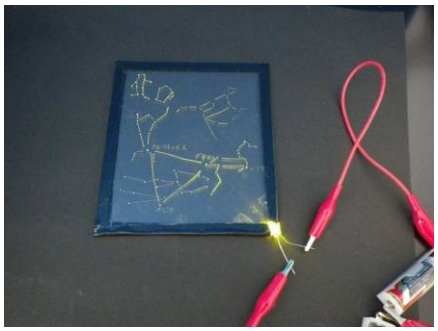
④暗い部屋で③の装置に電池をつなぐと星座盤が光る。

アクリル板の加工が大変であれば、センターに在庫が５０前後あるので提供します。また、早めに連絡をいただければセンターで加工することも可能です。

【用意するもの】



【できあがり】



１月の予定

○教職員理科研究発表会＆新学習指導要領に基づく実践紹介（センター研修）

◇**日　時**　１月１０日（木）

◇内　容

理科を担当している先生方の実践を発表し、理科の見識を深め、情報交換を行う目的で毎年行っている教職員理科研究発表会。今年は、センター研修の新学習指導要領に基づく実践紹介の研修会と同時開催となります。前半、春の総会で決定している実践発表者の発表を小中にわかれて行います。その後、市外で新学習指導要領に基づいた実践を積極的に進めていらっしゃる先生の実践紹介を行います。学校研の科学教育研究部に所属していらっしゃる先生方は原則全員出席となります。よろしくお願いします。

○要請研修　荒浜小学校５年生　放射線教育

◇**日　時**　１月１６日（水）

◇内　容

原子力広報センターを会場に行います。夏に全学校にお配りした放射線教育のパワーポイントを使いながら、５年生にできるだけわかりやすく放射線の特徴や、危険な時の命の守り方を伝えます。

○中学校２年生　『天気の変化』

◇**日　時**　１月２９日（火）

◇内　容

さまざまな気象情報から天気の変化の規則性を見い出し、日常生活で天気予測ができるようにするための授業構成の工夫を検討します。大型雲発生器やペットボトル内での簡単雲発生実験を紹介します。

平成２４年度　柏崎市立教育センター　　　　　　教育相談班だより　１２月号

心の窓 No.１６０

〒945 - １３５５
柏崎市大字軽井川４８０３ - ２
TEL　0257(23)4591（代表）
FAX　0257(23)4610

☆☆☆ふれあいルームより☆☆☆

ふれあいルームでは、毎年恒例となっている陶芸教室を、今年も上下浜の陶芸家石井先生の工房へお邪魔し、体験してきました。上下浜までの電車の旅も楽しみながら、作品完成までに、①型作り、②絵・色付け、窯入れ、③窯出し、鑑賞と３回お邪魔しました。石井先生、奥様との楽しい会話に子どもたちの緊張もほぐれ、ご指導いただきながら、それぞれ個性的なとても素敵な作品が完成しました。鑑賞では一人ずつ感想を発表し、奥様からお褒めの言葉をいただき、みんな、とても嬉しそうでした。

完成した作品を教育センター玄関ロビーで「ふれあい陶芸展」と題し、展示会を開催しました。葉っぱで型取りしたお皿、キャラクターのお皿、お茶碗など、力作揃いの展示会となりました。

（ふれあいルーム指導員　須藤直子）

◇◆

教育相談班　１月の予定

≪カウンセリングルーム≫

いろいろ体験グループ（SST）

９日（水）	16:30～17:30	小学生Ａグループ
１１日（金）	16:30～17:30	小学生Ｂグループ
１８日（金）	16:30～17:30	小学生Ｃグループ
２４日（木）	18:30～20:00	中学生第１グループ
２５日（金）	18:30～20:00	中学生第２グループ

≪ふれあいルーム≫

９日（水）	後期後半通級開始
１７日（木）	スケート教室 ②
２２日（火）	ソフィアセンター
２４日（木）	ヨガ教室

育成センター通信

0838

柏崎市青少年育成センター
〒945-1355 柏崎市大字軽井川 4803 番地 2
TEL0257-20-7601 FAX0257-23-4610
ikusei@city.kashiwazaki.niigata.jp

1・2 月の予定

（1月）

日	曜	こ と が ら
10	木	昼間育成（育成委員3、4班）
29	火	昼間育成（育成委員5、6班）

（2月）

日	曜	こ と が ら
7	木	昼間育成（育成委員7，8班）
22	金	昼間育成（育成委員1，2班）

“愛の一声”のかけ方

～育成委員研修会～
上越教育大学大学院准教授　稲垣応顕先生の講演

11月29日(木)に育成委員研修会で行われた稲垣准教授の講演は、地域で育成活動に取り組んでいる皆さんや、子育て真っ最中の皆さんにも聞いてほしい内容でした。

稲垣応顕（いながきまさあき）准教授

人間は、気持ちが高まったときに次の行動が生まれる。人間は、気持ちが揺さぶられたときに行動が変わる。我々が、子どもたちにどう働きかけるかがポイントだ。

我々はきっと、子どもたちに正しいこと、理屈に合うこと、ルール・マナーに適うことを言っているかと思う。

でも、気づいてほしい。我々の一方的なその正しいこと、理屈に合うことというのは、彼らからしてみるとウザイとしか思われていない。

大事なのは、我々が何を伝えたいかということもあるけれど、それ以上に、子どもたちが我々の言葉をどう受け止められるかという視点だ。子どもたちの視点に立たない理屈は、ウザイとしか思われない。理屈で攻めていくと、子どもたちも理屈で返してきて、お互いわかり合えなくなってしまうことが多い。

子どもたちの気持ちに働きかけていけると、わかってくれる確率が高くなる。「こんにちは」の後に「何してるの？」って言い方をされると、子どもたちは防波堤をつくってしまう。

「どうしたの、何か困った？」という言い方は、「君のこと思っていたよ」というのが伝わりやすい。

「何やってるの」というのは、事実を聞くことで、「どうしたの、だいじょうぶ？」という言い方にすると、子どもたちの「気持ち」に働きかけることができる。そんなところも、ひとつポイントになる。

続いて稲垣先生は、カールロジャースがカウンセラーの態度要件として掲げる「受容・共感・自己一致」と７つのカウンセリング・マインドについて例を挙げてわかりやすく説明され、声かけするときの心構えについて話された。

笑みこぼれるなごやかな演習

「生きづらい」と感じている子どもたちの気持ちを理解して寄り添っていくための心構えと方法を伝えていただき、参加者の多くは、一歩進んだ「声かけ」をしてみようと思ったのではないだろうか。

青少年育成活動の報告から

平成24年は、延べ900人以上の育成委員の皆さん、PTAの皆さんにより98回の育成活動が行われました。育成委員は、街頭や遊戯施設･スーパー･コンビニなどで、子どもたちに声をかけるなど啓発･見守り活動を行い、PTAの皆さんからも子どもたちを取り巻く環境を見ていただきました。

高校生下校育成

○　もうすっかりあいさつに慣れて、生徒のほうから笑顔を交えて“こんにちは”と元気に声をかけてくれます。効果・成果ありと、つくづく思います。

○　改札口で男子生徒が笑顔で近寄ってきて、僕の要望ですが下校育成を毎日続けてください。防犯の意味ですごく安心です。

○　ジベタリアンの女子高生が３～４人おやつを出して食べていたのでほんわり注意し、笑顔でベンチがある場所に移動してくれました。

○　あいさつ運動を校内で実施している学校の生徒は、あいさつが良い。生徒のほうから声をかけてくれて、とても好印象でした。

○　今回は、啓発チラシを配布しながら高校生に声かけ会話をした。チラシをきっかけに傷つきやすい高校生（男子）の気持ちを聞くことができた。

○　変なおじさんが毎日駅に立っていて、写真を撮ったり近寄って来たりする。ぎおんやえんま市の人ごみで私たち女子高校生を見つけ、寄って来て触るの。・・・→交番に通報しました。

えんま市育成

○　ベテランの委員さんと巡回し、今まで気付かなかった点が多々あり、チェックの視点が少しわかってきました。（PTA）

○　大人になりきれていない親が多くいました。一緒になってベタ座りしていたりビール等に酔っていたりで、子どもが勝手に遊んでいる姿を見ました。大人の育成が必要です。（PTA）

○　高校生グループに積極的に声掛け、９時頃えんま市を引き払ってカラオケに行くという。家族には話してあると言うが・・・。

○　いつもと違い、掛ける言葉が見つからない。ただ、先生方には生徒から「こんばんは」と声が掛かり、先生方の見回りは絶大。

○　自転車置き場に男の子たちがたむろしていて近づけないと、女子高校生が言うので一緒に付いて行ってあげた。

街頭育成

○　駐輪場のトイレで高校生が遊んでいるとの事。目立たないところなので注意が必要です。

○　大型店のゲームコーナーに何人かの中学生の姿が見られ、育成委員の姿や声かけでドキッとする子もいたようだ。見回ることの大切さを実感した。

○　××のたばこ屋で制服を着た高校生にタバコを売っていた。・・・→後日、育成センターで啓発訪問をしました。

○　ゲームセンターは大人でも怖い感じだが、家族連れが結構いるし子どもだけの場合も見かける。タバコを吸っている環境に子どもを連れて来てはいけない。家族連れで来たことが子どもの次へという動機になるかも。（PTA）

○　不審な来店者があるコンビニでは、対応マニュアルを用意して注意していると言っていた。（PTA）

○　カラオケ店では、アルコール持込客の中には年齢判断のつきにくい服装・身なりの者もいて、年齢を識別できる物の提示を求めても、理由つけて拒む客がいて困ることもあるそうだ。

○　カラオケ店では、中学生だけのグループが見受けられた。個室の中は確認できない。柏刈ルールを事業者にも啓発する必要がある。（PTA）

○　電機店では、学生・生徒たちが団体で来店しアイポッドやスマホの部品、飾りなどを角に行って中身を取り出したりする万引きが多いと聞いた。

○　不審者情報を受け付近を巡回。携帯に夢中になっている女子高校生に声かけをする。隙だらけですよって。

１月の行事予定表

日	曜	研修・行事・会議
1	火	元日
2	水	
3	木	
4	金	
5	土	
6	日	
7	月	相:班会議13:00-
8	火	
9	水	相:SST小A16:30-　ふ:後期後半通級開始
10	木	研:教職員理科研究発表会＆実践紹介13:40-
11	金	相:SST小B16:30-
12	土	
13	日	
14	月	成人の日
15	火	研:新学習指導要領に基づく実践紹介(英語)
16	水	研:新学習指導要領に基づく実践紹介(算数・数学) 科:放射線教育(荒浜小)14:00-
17	木	ふ:スケート教室 9:00-11:30
18	金	研:特別支援学級経営の基礎基本Ⅳ14:30- 情:デジタルアルバム作成入門　相:SST小C16:30-
19	土	
20	日	
21	月	
22	火	適応指導連携協議会(学習室)13:30- ふ:ソフィアセンター
23	水	
24	木	研:新学習指導要領に基づく実践紹介(技術)工科大 相:SST中①18:30-　ふ:ヨガ教室10:00-11:30
25	金	研:新学習指導要領に基づく実践紹介(国語) 相:SST中②18:30-
26	土	
27	日	
28	月	
29	火	研:問題解決事例から学ぶ毅然とした指導の具体 科:中２「天気の変化」15:00-
30	水	研:新学習指導要領に基づく実践紹介(保健体育)
31	木	研:新学習指導要領に基づく実践紹介(家庭科)

所　員　随　想

四季を通じて２

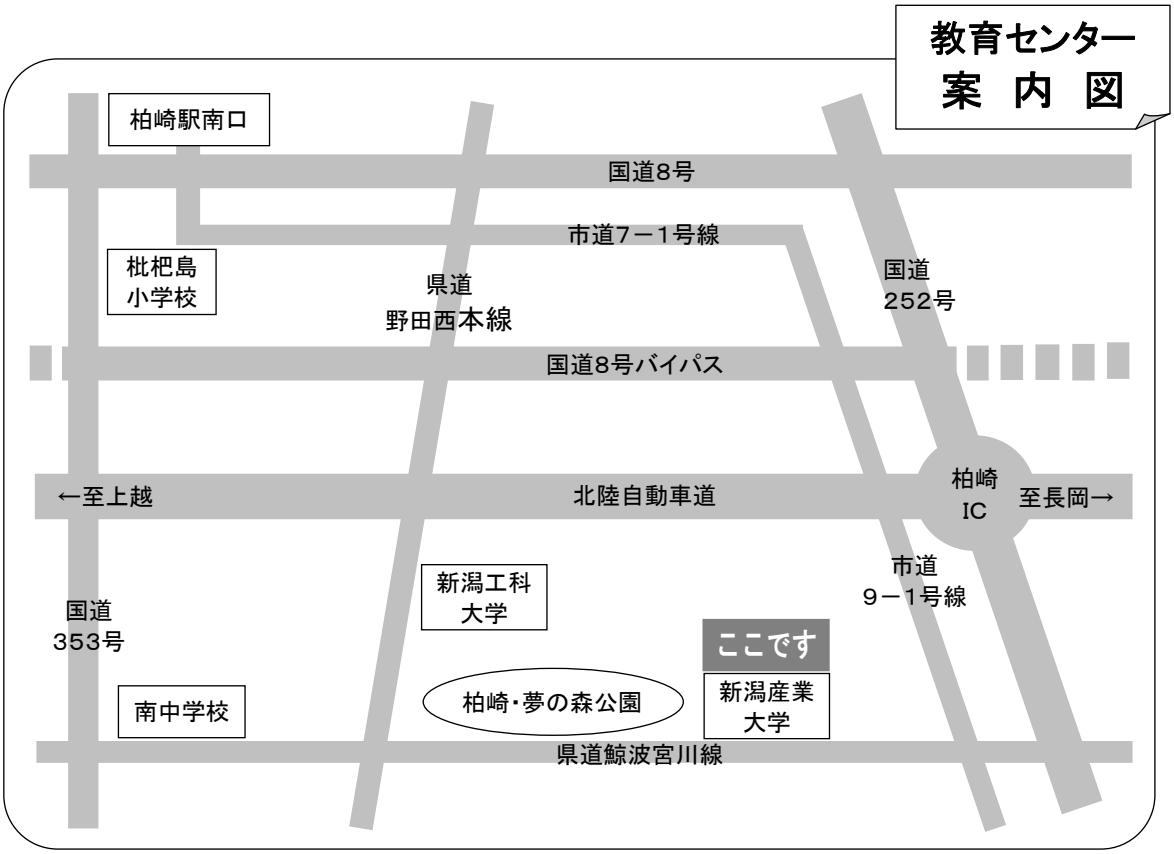
教育相談班相談員　植木　瞳

先月のこの欄に須藤先生から四季についての記載があり、私も自分の見た景色をお伝えしたく、先月に続く形にさせていただきました。

私は、今年度より上越から１時間と少しかけて通っています。当初は、特に朝の長い通勤時間が億劫でなりませんでした。しかし、徐々に通勤の車窓から見える四季の変化、そしてその景色の素晴らしさに楽しみを感じるようになりました。今では、何と贅沢な時間を過ごさせてもらっているのだろうと感じます。

四季を感じるもののひとつに海の色があります。海のない県で育った私にとって、海の色というのは年間通して同じと思っていました。しかし、春夏の真っ青な色から、秋が深まる頃には、緑色と時々茶色に似た色に見えるようになり、今は本格的な冬に向かって、緑色に波しぶきの白さが目立つようになっています。

また、春には色鮮やかな花々を眺めることができます。夏になると、青々とした森の木々から、生命力を感じます。秋になると紅葉が日々鮮やかになります。そして刈り取られた田んぼの中では、冬支度をした白鳥を見かけます。これから冬が進み、このガリレイが発行される頃には、道は白一色かと思います。しばらくは、その白さと“にらめっこ”しながらの運転となりそうですが、その中にも新たな発見ができることを期待しています。



〒945-1355　柏崎市大字軽井川４８０３番地２（新潟産業大学キャンパス内）

※路線バスは、柏崎駅南口から新潟産業大学行きをご利用ください。

※車でお越しの方は、キャンパス内では徐行をお願いします。

教科書センター利用案内

柏崎刈羽の小・中学校で使用している教科書のほか、各教科書会社の小・中学校の教科書各２冊、高等学校の教科書各１冊を備え付けています。どなたでも閲覧することができるほか、小・中学校の教科書は、閲覧だけではなく貸出も行っています。各教科書会社の学習内容の取り扱いの比較、授業研究のための教材研究などに役立ててはいかがでしょうか。

教育センター代表TEL：0257－23－4591
代表FAX：0257－23－4610
E-mail：k-center@city.kashiwazaki.niigata.jp
教育研究班・情報教育TEL：0257－23－1168
E-mail：kec@kenet.ed.jp
教育研究班（科学技術教育）TEL：0257－20－0212
E-mail：kagaku@kenet.ed.jp
教育相談班（ｶｳﾝｾﾘﾝｸﾞﾙｰﾑ）TEL：0257－32－3397
E-mail：soudan@kenet.ed.jp
教育相談班（電話相談）TEL：0257－22－4115
青少年育成センターTEL：0257－20－7601
E-mail：ikusei@city.kashiwazaki.niigata.jp
教育情報支援システム URL：http://kedu.kenet.ed.jp

平成２４年１２月発行